

平成29年9月4日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標 題 (株)サンファームみのりトロ箱栽培での野菜出荷開始

(ダイジェスト)

浜田市旭町のサポート経営体(株)サンファームみのりでは主に水稲の育苗や作業受託を行っていますが、育苗ハウスを利用してミニトマトのトロ箱栽培も行っています。今年度からはハウスを追加して、なす、きゅうりも栽培することになりました。6月下旬から定植を開始し、8月上旬から市場や地元の産直などに出荷を開始しています。

(株)サンファームみのりは地域を守る担い手として平成24年にサポート経営体として誕生し、旭町を中心とした水稲の育苗をはじめ、田植え、稲刈り、乾燥調製などの作業受託や育苗ハウス2棟を活用してミニトマトのトロ箱栽培も行ってきました。

ところが昨年の4月に春の大風でハウスが倒壊し、育苗やトロ箱栽培が出来なくなってしまいました。そこで倒壊したハウスのうち6棟については新農林水産振興ががんばる地域応援総合事業を利用しハウスを再建するとともにトロ箱栽培を拡充させ、ハウス2棟ずつを利用してミニトマト、なす、きゅうりを栽培することになりました。

6月下旬になすの定植を行い、その後ミニトマト、きゅうりと定植してきました。新たに導入した養液装置はハウスごとに給液管理が可能で、同じ品目でも作付時期をずらして過剰生産にならないよう管理しています。8月上旬からは収穫も始まり地元の市場や産直市での売れ行きは好調です。地元生産者の生産が減っていくこれからの時期に多く出荷する計画となっており、産直市の売上高増へ期待も高まっています。浜田普及部では引き続き育苗ハウスを利用した経営多角化が推進できるように支援していきます。



今年から栽培を開始したなすときゅうり